

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.1

名前

得点

/10

問1 13世紀前半の1223年に、京都から東海道を下って武家政権の本拠地へと旅した人物によって著された作品である。作中には、当時の交通事情や都市の様子に加え、船着き場に多くの商人が集まりにぎわう社会経済の状況が描かれており、中世の交通や庶民の生活を知る上で貴重な史料となっている、この紀行文の名称を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 海道記 2. 弁内侍日記 3. 東関紀行 4. 十六夜日記

問2 室町時代の近畿地方などで形成された自律的な村落では、構成員の連帯を強めるために神社の祭礼が重視された。この村落において、鎮守の神社の祭礼を維持・運営し、寄合の母体ともなった、特権的な家々や構成員による組織を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 宮座 2. 講衆 3. 惣中 4. 若衆

問3 室町時代後期から戦国時代にかけて、明から輸入された宋銭や洪武通宝・永楽通宝などの銅銭が広く流通したが、同時に国内で鑄造された粗悪な私鑄銭も混入した。このため、人々が取引の際に良質な貨幣を選び、悪質な貨幣の受け取りを拒否する行為が一般化し、市場の混乱を招いた。この、良質な貨幣を選別する行為を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 鑿銭 2. 精銭 3. 撰銭 4. 悪銭

問4 室町幕府の保護と統制下にあった臨濟宗の官寺組織である五山・十刹に対し、その制外にあって独自の布教活動を展開し、地方の武士や庶民の間に深く浸透した禅宗諸派の総称として、最も適当なものを答えよ。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 林下 2. 十刹 3. 五山 4. 諸山

問5 室町時代、明から大量の銅銭が流入して貨幣経済が急速に発達した。しかし、流通する貨幣の中には割れや欠けのある粗悪な私鑄銭なども混ざっていたため、人々が良質な銭を選び、劣悪な銭の受け取りを拒否する行為が横行し、取引の混乱を招く社会問題となった。この行為を何と呼ぶか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 撰銭 2. 徳政 3. 為替 4. 割符

問6 鎌倉時代、紀伊国阿氏河荘の農民たちが、領主である高野山に対して、現地で過酷な取り立てや暴力行為を行う武士の非道を訴え出た。この訴状で訴えの対象となった、幕府から荘園の管理や徴税、警察権などを任されていた現地の役職を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 連署 2. 守護 3. 執権 4. 地頭

問7 3代将軍源実朝の時代に、侍所別当であった和田義盛を挑発して挙兵に追い込み、これを滅ぼすことで執権としての権力をさらに強固なものとした人物は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 北条泰時 2. 北条時宗 3. 北条義時 4. 北条時政

問8 鎌倉幕府が、二度にわたる蒙古襲来ののち、九州地方の防衛強化や現地の御家人の統制・裁判業務を迅速に行うために、1293年に博多に設置した機関は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 京都守護 2. 奥州奉行 3. 鎮西探題 4. 長門探題

問9 11世紀後半、東北地方の豪族である清原氏の一族内で内紛が発生した。この戦乱において、陸奥守であった源義家の助力を得て勝利を収め、のちに平泉を本拠地として奥州藤原氏の繁栄の基礎を築いた人物は誰か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 藤原基衡 2. 藤原泰衡 3. 藤原秀衡 4. 藤原清衡

問10 室町時代から戦国時代にかけて、浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市が各地に現れた。富田林などに代表される、このような都市の形態を何と呼ぶか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 城下町 2. 宿場町 3. 寺内町 4. 門前町

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 海道記	1223年（貞応2年）に京都を出発し、東海道を経て鎌倉に下った道中の様子を記した紀行文である。作者は未詳であるが、当時の宿駅の様子や、鎌倉の船着き場に集まる商人の活動など、鎌倉時代初期の交通や社会経済の実態を伝える貴重な歴史史料として位置づけられている。同様の鎌倉時代の紀行文には、1242年頃の旅を描いた『東関紀行』などがある。
問2	答え 1 宮座	室町時代に形成された惣村では、村の鎮守の神社の祭礼を運営する組織として宮座が結成された。宮座は、村の寄合の母体となり、一味同心の結束を誓い合う場として、惣村の自治的な運営において重要な役割を果たした。古代の占いである太占や、江戸幕府の職制である寺社奉行は、中世惣村の祭礼運営組織ではないため誤りとなる。
問3	答え 3 撰銭	日明貿易などを通じて中国から大量の銅銭が流入したが、室町時代後期になると、国内で私的に鑄造された粗悪な私鑄銭（鋸銭）が混じるようになった。人々は支払いの際に、割れや欠けのない良質な銭を選び、粗悪な銭を嫌う選別行為を行うようになり、これが円滑な取引を妨げたため、幕府や大名による規制が必要となった。
問4	答え 1 林下	室町時代、幕府の保護と統制下にあった臨濟宗の五山・十刹に対し、その制外にあって独自の布教活動を展開した禅宗諸派は「林下」と呼ばれた。これには臨濟宗の妙心寺派や大徳寺派、および曹洞宗が該当し、地方の武士や庶民の間に深く浸透した。
問5	答え 1 撰銭	室町時代には明から大量の銅銭が輸入され、国内の貨幣流通量が飛躍的に増大した。これに伴い、私鑄銭や破損した銭などの劣悪な貨幣を嫌い、良質な貨幣を選別して受け取りを拒否する行為が行われるようになった。これにより円滑な取引が妨げられたため、幕府や守護大名は撰銭令を出して、一定の基準で劣悪な銭の流通を強制したり、混入割合を定めたりして市場の混乱を収めようとした。
問6	答え 4 地頭	源頼朝が国ごとに守護、荘園や公領ごとにこの役職を設置した。彼らは現地で年貢の徴収や土地管理、治安維持を担ったが、次第に荘園領主の支配を侵害し、独自の支配（不法行為）を強めるようになったため、阿氏河荘のように農民から訴えられるケースが生じた。
問7	答え 3 北条義時	源頼朝の死後、北条氏は有力御家人を次々と排斥して権力を握った。第2代執権である北条義時は、1213年に侍所別当の和田義盛を挑発して挙兵させ（和田合戦）、これを滅ぼした。これにより侍所別当の地位も執権が兼ねるようになり、北条氏の独裁的地位が確立されていった。
問8	答え 3 鎮西探題	蒙古襲来（元寇）ののち、鎌倉幕府は九州の防衛体制を強化し、現地の御家人に対する統制や領地訴訟などの裁判を迅速に処理するため、北条氏一門を長官とする機関を博多に設置した。これが鎮西探題であり、これにより北条氏による九州支配が強化された。
問9	答え 4 藤原清衡	前九年の役ののちに奥羽で強大化した清原氏の内紛（後三年の役）において、源義家の介入を経て勝利を収めたのが藤原清衡である。清衡はその後、陸奥・出羽の支配権を確立し、平泉に拠点を移して中尊寺金色堂を建立するなど、奥州藤原氏の繁栄の基礎を築いた。
問10	答え 3 寺内町	浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市は寺内町と呼ばれる。河内国の富田林や摂津国の石山、大和国の今井などがその代表例である。これに対し、伊勢湾に臨む桑名などは港町として発達した。

問1 鎌倉時代、紀伊国の荘園において、現地の武士による過酷な支配や暴力行為に対し、農民たちが領主である高野山にその非道を訴え出た、仮名交じり文で書かれた代表的な文書を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 美濃国西部荘百姓申状 2. 若狭国太良荘百姓申状 3. 紀伊国阿氏河荘民訴状 4. 播磨国矢野荘百姓申状

問2 室町時代に、京都などの都市において、酒屋とともに高利貸を営んで富を蓄え、幕府の重要な財源として課税対象となった、質物を保管する強固な倉庫を備えた金融業者を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 借上 2. 問屋 3. 酒屋 4. 土倉

問3 源実朝の暗殺後、朝廷との対立が激化する中で、1221年に後鳥羽上皇から追討の院宣を下された、鎌倉幕府の第2代執権は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 北条泰時 2. 北条時宗 3. 北条時政 4. 北条義時

問4 戦国大名である織田信長は、尾張から勢力を広げて天下統一へと乗り出した。信長が駿河の今川氏を破ったのち、足利義昭を奉じて京都へ入った。その後、三河国において徳川家康と連合し、甲斐の武田氏の軍勢を多数の鉄砲を用いて破った。この、武田勝頼の軍を破った戦いの名称を答えよ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 姉川の戦い 2. 長篠の戦い 3. 山崎の戦い 4. 厳島の戦い

問5 室町時代には、交通や交易の要衝として多様な都市が発達した。伊勢湾に臨む港町であり、のちに東海道の宿駅や伊勢参詣の拠点としても栄えた都市の名称として正しいものを、次のうちから一つ選べ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 博多 2. 桑名 3. 兵庫 4. 敦賀

問6 南北朝の動乱期、足利尊氏は後醍醐天皇の菩提を弔うために天竜寺の建立を計画した。この際、造営費用を調達するために元へ貿易船を派遣することを尊氏に勧めた、臨濟宗の僧侶は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 一休宗純 2. 夢窓疎石 3. 義堂周信 4. 絶海中津

問7 室町時代の近畿地方などで形成された自律的な村落では、構成員の連帯を強めるために神社の祭礼が重視された。この村落において、鎮守の神社の祭礼を維持・運営し、寄合の母体ともなった、特権的な家々や構成員による組織を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 宮座 2. 講衆 3. 惣中 4. 若衆

問8 鎌倉幕府の5代執権であり、1247年に有力御家人である三浦泰村の一族を滅ぼす政変を引き起こして北条氏の権力を確立したほか、引付衆を設置して裁判の迅速・公正化を図った人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 北条時頼 2. 北条時宗 3. 北条泰時 4. 北条義時

問9 南北朝時代、武士の間でも流行した文芸において、北朝の公家である二条良基が連歌師の救済とともに制定し、その後の連歌の基準となった規則書 (式目) は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 吾妻問答 2. 筑波問答 3. 連歌十論 4. 応安新式

問10 鎌倉幕府が、二度にわたる蒙古襲来の際、九州地方の防衛強化や現地の御家人の統制・裁判業務を迅速に行うために、1293年に博多に設置した機関は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 京都守護 2. 奥州奉行 3. 鎮西探題 4. 長門探題

問11 1485年に山城国で発生した一揆では、国人や土民が集会を開いて守護大名畠山氏の軍勢を退去させ、8年間に及び自治を行った。この出来事について、「国中の土民・国人等群集」し、「両陣を退散」させたことを「下剋上の至りなり」と記録した、興福寺の僧侶・尋尊の日記を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 大乗院寺社雑事記 2. 宇野主殿頭日記 3. 大乗院日記目録 4. 後土御門天皇宸記

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 3 紀伊国阿氏河荘民訴状	鎌倉時代、地頭の不法に対して荘園領主に直訴する動きが見られた。紀伊国阿氏河荘の農民が高野山蓮華乗院に提出したこの文書は、地頭の湯浅宗親による耳を切り髪を刈るなどの非道を、仮名交じり文で具体的に訴えたものとして有名である。
問2	答え 4 土倉	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、高利貸を営む金融業者が台頭した。質物を保管する倉庫を持っていたことからこの名で呼ばれ、酒屋とともに幕府の重要な財源として課税対象（土倉役・酒屋役）となった。
問3	答え 4 北条義時	源実朝の暗殺後に実権を握った第2代執権の北条義時は、朝廷との関係悪化に直面しました。後鳥羽上皇は義時を排除すれば幕府を打倒できると考え、彼に対する追討の院宣を諸国の武士に下しました。しかし、幕府側の迅速な反撃により朝廷側は敗北し、義時を中心とする幕府体制はさらに強固なものとなりました。
問4	答え 2 長篠の戦い	織田信長は1560年の桶狭間の戦いで今川義元を破り、1568年には足利義昭を擁して上洛を果たした。その後、1575年に三河国の長篠城をめぐり、徳川家康とともに武田勝頼の軍勢と対峙した。この戦いにおいて、信長は鉄砲隊を組織的に用いて武田の騎馬隊を破り、天下人としての地位を固めていった。
問5	答え 2 桑名	桑名は伊勢湾に臨む交通・交易の要衝として栄えた港町である。室町時代には、このような港町のほかに、一向宗の寺院を中心に周囲に濠や土塁を巡らせて形成された富田林などの寺内町や、社寺の門前に発達した門前町など、多様な都市が成立した。
問6	答え 2 夢窓疎石	足利尊氏は、対立したまま吉野で没した後醍醐天皇の冥福を祈るため、京都に天竜寺を創建した。この造営資金を確保するため、臨済宗の僧侶であった人物の勧めに従って元へ天竜寺船が派遣された。この建言を行ったのは、初代住職となった夢窓疎石である。
問7	答え 1 宮座	室町時代に形成された惣村では、村の鎮守の神社の祭礼を運営する組織として宮座が結成された。宮座は、村の寄合の母体となり、一味同心の結束を誓い合う場として、惣村の自治的な運営において重要な役割を果たした。古代の占いである太占や、江戸幕府の職制である寺社奉行は、中世惣村の祭礼運営組織ではないため誤りとなる。
問8	答え 1 北条時頼	1246年に5代執権に就任した人物は、翌1247年に宝治合戦を引き起こして有力御家人の三浦泰村一族を滅ぼし、北条氏の権力を確立した。また、御家人たちの所領訴訟を迅速かつ公正に処理するため、評定衆の下に引付衆を新設するなど、内政の整備にも努めた。
問9	答え 4 応安新式	南北朝時代の1372年（応安5年）、北朝の摂政・関白を務めた二条良基が、連歌師の救済らと協力して制定した連歌の規則書（式目）である。良基はこれに先立ち、救済とともに最初の准勅撰連歌集である『菟玖波集』を編纂しており、連歌の地位向上とルール化に大きく貢献した。15世紀後半（室町時代後期）に宗祇らが活躍する以前の、南北朝期に成立した点が重要である。
問10	答え 3 鎮西探題	蒙古襲来（元寇）ののち、鎌倉幕府は九州の防衛体制を強化し、現地の御家人に対する統制や領地訴訟などの裁判を迅速に処理するため、北条氏一門を長官とする機関を博多に設置した。これが鎮西探題であり、これにより北条氏による九州支配が強化された。
問11	答え 1 大乗院寺社雑事記	山城国一揆に関する有名な史料は、奈良の興福寺大乗院門跡であった尋尊が記した『大乗院寺社雑事記』である。この日記には、国人や土民が団結して守護大名畠山氏の軍勢を退去させた様子が「下剋上の至り」として生々しく記録されており、当時の社会変動を示す貴重な史料となっている。

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.3

名前

得点

/11

問1 中世の日本海交易において、津軽半島北西部に位置し、北方地域や大陸の文物が流入する拠点として栄えた港町はどこか。この地は、鎌倉幕府のもとで蝦夷沙汰職を務めたとされる武士の一族の支配拠点でもあった。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 兵庫湊 2. 品川湊 3. 十三湊 4. 大湊

問2 室町時代に活躍した画僧で、遣明船に同乗して明に渡り、本場の中国画風を学んだ。帰国後、日本の自然景観に即した独自の画風を確立し、『四季山水図巻』や『天橋立図』などの代表作を残した人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 雪舟 2. 明兆 3. 周文 4. 如拙

問3 鳥羽上皇の皇女(暲子内親王)であり、父から譲られた膨大な荘園群を伝領して巨大な経済力を保持した。治承・寿永の乱期には、平氏打倒の令旨を発した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する政治的動向を示したことで知られる女性は誰か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 平時子 2. 平徳子 3. 八条院 4. 平盛子

問4 室町時代に、京都などの都市において、酒屋とともに高利貸を営んで富を蓄え、幕府の重要な財源として課税対象となった、質物を保管する強固な倉庫を備えた金融業者を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 借上 2. 問屋 3. 酒屋 4. 土倉

問5 1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた、領主の時堯がこれを買取ったことで知られる九州南方の島はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 口之津 2. 鹿児島 3. 島原 4. 種子島

問6 平安時代中期、源信は極楽往生の方法を具体的に説き、のちの浄土教の発展に決定的な影響を与えた書物を著した。この書物は日中を往来する商人によって中国へも伝えられたが、その書物の名称は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 往生要集 2. 十住心論 3. 三教指帰 4. 秘蔵宝鑑

問7 前九年合戦・後三年合戦の混乱を経て奥羽地方の覇権を確立し、平泉を本拠地として奥州藤原氏4代にわたる繁栄の基礎を築いた人物は誰か。中尊寺を建立し、特産の金や馬、北方交易による富を背景に独自の仏教文化を花開かせた。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 藤原清衡 2. 藤原秀衡 3. 藤原基衡 4. 藤原泰衡

問8 3代将軍源実朝の時代に、侍所別当であった和田義盛を挑発して挙兵に追い込み、これを滅ぼすことで執権としての権力をさらに強固なものとした人物は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 北条泰時 2. 北条時宗 3. 北条義時 4. 北条時政

問9 鎌倉幕府の5代執権である北条時頼は、幕府の権威を高めるとともに北条氏の執権政治を安定させるため、前将軍の藤原頼経を京都へ送還した。これに代わって、後嵯峨天皇の皇子として鎌倉に迎えられ、最初の皇族将軍となった人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 守邦親王 2. 宗尊親王 3. 惟康親王 4. 久明親王

問10 室町幕府の8代将軍足利義政の妻であり、夫が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行った人物は誰か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 日野康子 2. 日野重子 3. 日野富子 4. 赤松登子

問11 織田信長は、桶狭間の戦いで今川義元を破って頭角を現し、美濃の斎藤氏を滅ぼして本拠地を岐阜に移した。その後、信長が室町幕府の再興を大義名分として、前将軍の弟である足利義昭を擁して京都へ入り、中央政界に進出した政治的・軍事的行動を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 改易 2. 上洛 3. 転封 4. 和睦

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 3 十三湊	十三湊は、青森県の津軽半島に位置する中世の港町である。鎌倉時代から室町時代にかけて、蝦夷沙汰職を務めた安藤氏（安東氏）の支配のもと、日本海交易の拠点として大いに栄えた。発掘調査からは、アイヌ文化圏や中国（宋・元・明）からの陶磁器など、多様な文物が流入していたことが明らかになっている。
問2	答え 1 雪舟	室町時代、禅宗の隆盛に伴い水墨画が発達した。画僧である雪舟は大内氏の支援を得て明に渡り、中国の絵画技法を吸収した。帰国後は日本の自然を写実的に捉えた独自の様式を大成させ、のちの日本絵画に大きな影響を与えた。
問3	答え 3 八条院	鳥羽上皇の皇女である暲子内親王（八条院）は、父から伝領した膨大な荘園群を背景に、院政期から鎌倉時代にかけて政界に強い影響力を持った。治承・寿永の乱においては、平氏打倒を掲げて挙兵した以仁王の子を保護するなど、平氏政権と対立する姿勢を明確にした。
問4	答え 4 土倉	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、高利貸を営む金融業者が台頭した。質物を保管する倉庫を持っていたことからこの名で呼ばれ、酒屋とともに幕府の重要な財源として課税対象（土倉役・酒屋役）となった。
問5	答え 4 種子島	1543年、ポルトガル人を乗せた中国のジャンク船が九州南方の種子島に漂着した。この際、領主の種子島時堯がポルトガル人から火縄銃を購入したことで、日本に鉄砲とその製造技術が伝来した。この出来事は、のちの戦国時代の戦術や兵農分離、城郭の構造などに決定的な影響を与える契機となった。
問6	答え 1 往生要集	源信は『往生要集』を著し、地獄や極楽の様子を具体的に描写して念仏による極楽往生を勧めた。この書物は日本の貴族や庶民に広く受け入れられただけでなく、当時、日中を往来していた商人たちの手によって宋（中国）へももたらされ、現地でも高く評価された。
問7	答え 1 藤原清衡	前九年合戦・後三年合戦ののち、奥羽地方の支配権を握った藤原清衡は、11世紀末に本拠地を平泉に移した。清衡は中尊寺を創建するなど、仏教に基づく平和な理想郷の建設を目指し、奥州藤原氏の全盛期の礎を築いた。
問8	答え 3 北条義時	源頼朝の死後、北条氏は有力御家人を次々と排斥して権力を握った。第2代執権である北条義時は、1213年に侍所別当の和田義盛を挑発して挙兵させ（和田合戦）、これを滅ぼした。これにより侍所別当の地位も執権が兼ねるようになり、北条氏の独裁的地位が確立されていった。
問9	答え 2 宗尊親王	5代執権の北条時頼は、反北条勢力が前將軍の藤原頼経を担ぎ上げるのを防ぐために彼を京都へ送還し、1252年に後嵯峨天皇の皇子を將軍として迎えた。これにより、以後の鎌倉將軍は皇族から迎えられる皇族將軍の時代となった。
問10	答え 3 日野富子	足利義政の妻である日野富子は、義政が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行いました。これは従来「悪女」としての行動とみなされてきましたが、現代の研究では幕府財政の運用や味方への経済支援としての側面が評価されています。
問11	答え 2 上洛	織田信長は、尾張・美濃を平定したのち、1568年に足利義昭を奉じて京都へ入る上洛を敢行した。これにより義昭を15代將軍に就け、室町幕府を再興するとともに、自らはその背後で実権を握り、天下統一への足がかりを築いた。

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.4

名前

得点

/10

問1 室町幕府の統制から離れて独自の布教を行った禅宗諸派（林下）のうち、関山慧玄を開山とし、のちに大徳寺とともに臨済宗の林下の代表的存在となった、京都にある寺院として、最も適当なものを答えよ。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 天龍寺 2. 妙心寺 3. 建仁寺 4. 相国寺

問2 室町幕府の地方支配体制が揺らぐなか、戦国大名の中には、南北朝時代以来の伝統的な支配権を背景に、そのまま領国を掌握して戦国大名へと脱皮・成長を遂げた家系が存在した。このような出自を持ち、駿河国を本拠地として領国支配を広げた代表的な一族を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 大友氏 2. 今川氏 3. 島津氏 4. 武田氏

問3 1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた、領主の時堯がこれを買取ったことで知られる九州南方の島はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 口之津 2. 鹿児島 3. 島原 4. 種子島

問4 室町時代から戦国時代にかけて、浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市が各地に現れた。富田林などに代表される、このような都市の形態を何と呼ぶか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 城下町 2. 宿場町 3. 寺内町 4. 門前町

問5 日蓮宗の僧である日親は、幕府の政治を批判する『立正治国論』を著して時の最高権力者に直訴したが、激怒したその人物によって投獄され、熱い鍋を頭から被せられるなどの過酷な拷問を受けた。この日親を弾圧した、後に守護大名に暗殺されることとなる室町幕府の第6代将軍は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 足利義政 2. 足利義昭 3. 足利義教 4. 足利義満

問6 室町幕府の3代将軍足利義満は、将軍権力を強化するために有力守護の勢力削減を図った。その一環として、周防など数力国の守護を兼ね、朝鮮や明との独自交易によって強大な経済力を有していた大内義弘が、1399年に堺で挙兵したものの幕府軍に滅ぼされた。この一連の出来事を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 嘉吉の乱 2. 応永の乱 3. 明徳の乱 4. 応仁の乱

問7 鎌倉時代、社会の混乱や蒙古襲来などの危機に直面し、前執権の北条時頼に政策提言の書を提出して他宗を厳しく批判するとともに、法華経の教えを信じて「南無妙法蓮華経」の文句を唱えることで国家と人々が救われると説いた、法華宗の開祖は誰か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 日蓮 2. 親鸞 3. 法然 4. 道元

問8 奥州藤原氏の祖が本拠地とした奥羽地方の要衝で、特産の金や馬、北方交易による富を背景に、中尊寺などの大伽藍が築かれ、京都の文化が積極的に移入されて東日本随一の都市として繁栄した場所はどこか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 鎌倉 2. 福原 3. 博多 4. 平泉

問9 室町時代に、京都などの都市において、酒屋とともに高利貸を営んで富を蓄え、幕府の重要な財源として課税対象となった、質物を保管する強固な倉庫を備えた金融業者を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 借上 2. 問屋 3. 酒屋 4. 土倉

問10 戦国大名である織田信長は、尾張から勢力を広げて天下統一へと乗り出した。信長が駿河の今川氏を破ったのち、足利義昭を奉じて京都へ入った。その後、三河国において徳川家康と連合し、甲斐の武田氏の軍勢を多数の鉄砲を用いて破った。この、武田勝頼の軍を破った戦いの名称を答えよ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 姉川の戦い 2. 長篠の戦い 3. 山崎の戦い 4. 厳島の戦い

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 2 妙心寺	臨済宗妙心寺派の拠点である妙心寺は、大徳寺などとともに「林下」と呼ばれる禅宗諸派の代表的寺院である。幕府の保護と統制を受けた五山・十刹の制外にあり、地方武士や庶民への布教を進めて勢力を拡大した。
問2	答え 2 今川氏	戦国大名には様々な出自の者が存在する。駿河の守護であった家系からそのまま戦国大名へと成長したのが今川氏であり、同様の例として甲斐の武田氏が挙げられる。これに対し、北条早雲（伊勢宗瑞）のように素浪人から台頭した者や、毛利元就のように在地の領主（国人）から成長した者もあり、出自による分類は戦国大名の性格を理解する上で重要である。
問3	答え 4 種子島	1543年、ポルトガル人を乗せた中国のジャンク船が九州南方の種子島に漂着した。この際、領主の種子島時堯がポルトガル人から火縄銃を購入したことで、日本に鉄砲とその製造技術が伝来した。この出来事は、のちの戦国時代の戦術や兵農分離、城郭の構造などに決定的な影響を与える契機となった。
問4	答え 3 寺内町	浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市は寺内町と呼ばれる。河内国の富田林や摂津国の石山、大和国の今井などがその代表例である。これに対し、伊勢湾に臨む桑名などは港町として発達した。
問5	答え 3 足利義教	日蓮宗の僧である日親は、他宗を排して日蓮の教えを信奉すべきであると主張し、第6代将軍の足利義教に対して『立正治国論』を献上して諫言した。しかし、強権政治を進めていた義教の怒りを買って、投獄されて過酷な拷問を受けた。この将軍は、後に嘉吉の乱で赤松満祐に暗殺された。
問6	答え 2 応永の乱	足利義満は将軍権力の確立を目指し、土岐氏、山名氏などの有力守護を次々と挑発して没落させた。1399年には、西国で強大な勢力を誇り、日朝・日明貿易で富を蓄えていた大内義弘を堺で滅ぼした。これにより義満による守護抑圧策は一応の完成を見た。
問7	答え 1 日蓮	鎌倉新仏教の開祖の一人であるこの人物は、前執権の北条時頼に『立正安国論』を提出し、幕府の政策や他宗を批判した。蒙古襲来などの国難を予言し、南無妙法蓮華経の題目を唱えることで救済されると説いた。
問8	答え 4 平泉	藤原清衡は、北上川沿いの交通の要衝である平泉に居館を構えた。平泉は、奥州特産の金や馬、さらに日本海や北方との交易による経済力を背景に、中尊寺や毛越寺などの壮麗な寺院が建立され、独自の浄土教文化が栄えた。
問9	答え 4 土倉	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、高利貸を営む金融業者が台頭した。質物を保管する倉庫を持っていたことからこの名で呼ばれ、酒屋とともに幕府の重要な財源として課税対象（土倉役・酒屋役）となった。
問10	答え 2 長篠の戦い	織田信長は1560年の桶狭間の戦いで今川義元を破り、1568年には足利義昭を擁して上洛を果たした。その後、1575年に三河国の長篠城をめぐり、徳川家康とともに武田勝頼の軍勢と対峙した。この戦いにおいて、信長は鉄砲隊を組織的に用いて武田の騎馬隊を破り、天下人としての地位を固めていった。

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.5

名前

得点

/11

問1 鳥羽上皇からその皇女に譲られ、のちに大覚寺統の皇位継承闘争や経済的基盤を支えることになった、中世最大級の規模を誇る荘園群を何というか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 長講堂領 2. 八条院領 3. 鳥羽院領 4. 室町院領

問2 13世紀前半の1223年に、京都から東海道を下って武家政権の本拠地へと旅した人物によって著された作品である。作中には、当時の交通事情や都市の様子に加え、船着き場に多くの商人が集まりにぎわう社会経済の状況が描かれており、中世の交通や庶民の生活を知る上で貴重な史料となっている、この紀行文の名称を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 海道記 2. 弁内侍日記 3. 東関紀行 4. 十六夜日記

問3 平安時代中期、源信は極楽往生の方法を具体的に説き、のちの浄土教の発展に決定的な影響を与えた書物を著した。この書物は日中を往来する商人によって中国へも伝えられたが、その書物の名称は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 往生要集 2. 十住心論 3. 三教指帰 4. 秘蔵宝鑑

問4 奥州藤原氏の祖が本拠地とした奥羽地方の要衝で、特産の金や馬、北方交易による富を背景に、中尊寺などの大伽藍が築かれ、京都の文化が積極的に移入されて東日本随一の都市として繁栄した場所はどこか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 鎌倉 2. 福原 3. 博多 4. 平泉

問5 鎌倉幕府の5代執権であり、1247年に有力御家人である三浦泰村の一族を滅ぼす政変を引き起こして北条氏の権力を確立したほか、引付衆を設置して裁判の迅速・公正化を図った人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 北条時頼 2. 北条時宗 3. 北条泰時 4. 北条義時

問6 1485年に山城国で発生した一揆では、国人や土民が集会を開いて守護大名畠山氏の軍勢を退去させ、8年間に及ぶ自治を行った。この出来事について、「国中の土民・国人等群集」し、「両陣を退散」させたことを「下剋上の至りなり」と記録した、興福寺の僧侶・尋尊の日記を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 大乗院寺社雑事記 2. 宇野主殿頭日記 3. 大乗院日記目録 4. 後土御門天皇宸記

問7 鎌倉時代、京都と鎌倉の間では文化的な交渉も行われた。後鳥羽上皇の院宣によって編纂され、和歌を好んだ將軍源実朝のもとにも届けられた、中世を代表する勅撰和歌集は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 新古今和歌集 2. 続古今和歌集 3. 新勅撰和歌集 4. 後拾遺和歌集

問8 1970年代に韓国の新安沖で発見された沈没船からは、大量の銅銭や陶磁器とともに、京都の特定の寺院の再建資金調達を目的とした貿易船であることを示す木簡が発見された。この沈没船の派遣目的となった、九条道家が創建し、円爾(弁円)を開山とした京都の禅寺の名称として最も適当なものを答えよ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 東福寺 2. 天龍寺 3. 建仁寺 4. 相国寺

問9 源実朝の暗殺後、朝廷との対立が激化する中で、1221年に後鳥羽上皇から追討の院宣を下された、鎌倉幕府の第2代執権は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 北条泰時 2. 北条時宗 3. 北条時政 4. 北条義時

問10 室町幕府の8代將軍足利義政の妻であり、夫が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行った人物は誰か。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 日野康子 2. 日野重子 3. 日野富子 4. 赤松登子

問11 鎌倉幕府の5代執権である北条時頼は、幕府の権威を高めるとともに北条氏の執権政治を安定させるため、前將軍の藤原頼経を京都へ送還した。これに代わって、後嵯峨天皇の皇子として鎌倉に迎えられ、最初の皇族將軍となった人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 守邦親王 2. 宗尊親王 3. 惟康親王 4. 久明親王

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 2 八条院領	鳥羽上皇から皇女の暲子内親王（八条院）に譲られた荘園群は八条院領と呼ばれ、中世を通じて伝領され、のちに大覚寺統の重要な経済的基盤となった。この膨大な荘園群は、院政期の皇室の経済力を象徴するものである。
問2	答え 1 海道記	1223年（貞応2年）に京都を出発し、東海道を経て鎌倉に下った道中の様子を記した紀行文である。作者は未詳であるが、当時の宿駅の様子や、鎌倉の船着き場に集まる商人の活動など、鎌倉時代初期の交通や社会経済の実態を伝える貴重な歴史史料として位置づけられている。同様の鎌倉時代の紀行文には、1242年頃の旅を描いた『東関紀行』などがある。
問3	答え 1 往生要集	源信は『往生要集』を著し、地獄や極楽の様子を具体的に描写して念仏による極楽往生を勧めた。この書物は日本の貴族や庶民に広く受け入れられただけでなく、当時、日中を往来していた商人たちの手によって宋（中国）へももたらされ、現地でも高く評価された。
問4	答え 4 平泉	藤原清衡は、北上川沿いの交通の要衝である平泉に居館を構えた。平泉は、奥州特産の金や馬、さらに日本海や北方との交易による経済力を背景に、中尊寺や毛越寺などの壮麗な寺院が建立され、独自の浄土教文化が栄えた。
問5	答え 1 北条時頼	1246年に5代執権に就任した人物は、翌1247年に宝治合戦を引き起こして有力御家人の三浦泰村一族を滅ぼし、北条氏の権力を確立した。また、御家人たちの所領訴訟を迅速かつ公正に処理するため、評定衆の下に引付衆を新設するなど、内政の整備にも努めた。
問6	答え 1 大乘院寺社雑事記	山城国一揆に関する有名な史料は、奈良の興福寺大乘院門跡であった尋尊が記した『大乘院寺社雑事記』である。この日記には、国人や土民が団結して守護大名畠山氏の軍勢を退去させた様子が「下剋上の至り」として生々しく記録されており、当時の社会変動を示す貴重な史料となっている。
問7	答え 1 新古今和歌集	後鳥羽上皇の院宣によって編纂された『新古今和歌集』は、1205年に完成し、将軍源実朝のもとへも送られた。実朝は万葉風の歌を好んだことで知られるが、京都の貴族文化、特に和歌を通じて朝廷との結びつきを深めていた。
問8	答え 1 東福寺	新安沈没船から発見された木簡には「東福寺」「筥崎宮」などの文字が記されており、これらの寺社の造営・再建費用を調達するために元へ派遣された寺社造営料唐船であったことが判明した。東福寺は、鎌倉時代に摂政の九条道家が創建し、宋で禅を学んだ円爾（弁円）を迎えて開山とした臨済宗の寺院であり、後に京都五山の一つに数えられた。
問9	答え 4 北条義時	源実朝の暗殺後に実権を握った第2代執権の北条義時は、朝廷との関係悪化に直面しました。後鳥羽上皇は義時を排除すれば幕府を打倒できると考え、彼に対する追討の院宣を諸国の武士に下しました。しかし、幕府側の迅速な反撃により朝廷側は敗北し、義時を中心とする幕府体制はさらに強固なものとなりました。
問10	答え 3 日野富子	足利義政の妻である日野富子は、義政が政務を放棄した時期に幕政に関与し、大名らへの資金貸し付けなどの金融活動を行いました。これは従来「悪女」としての行動とみなされてきましたが、現代の研究では幕府財政の運用や味方への経済支援としての側面が評価されています。
問11	答え 2 宗尊親王	5代執権の北条時頼は、反北条勢力が前将軍の藤原頼経を担ぎ上げるのを防ぐために彼を京都へ送還し、1252年に後嵯峨天皇の皇子を将軍として迎えた。これにより、以後の鎌倉将軍は皇族から迎えらるる皇族将軍の時代となった。